

再生可能エネルギー活用による地域復興セミナー
 -地域主体で自然エネルギーから仕事づくり-
 (受講生募集)

東日本大震災によって多くの人々は、地域と命を大切にすることに価値をおいています。こうした転換は、震災からの仕事や生活の再建や原発破綻によるエネルギー転換が根本から問われているからです。そのため、新たに地域で農・食やケア、エネルギー自給を基礎に据えた復興が求められています。

とくに、再生可能エネルギーの導入は大きな希望であり、また課題となっています。地域の風土に応じた再生可能エネルギーを地域主導で導入していくためには、地域で活動する人々が再生可能エネルギーについての知識を身につけ、自らの仕事として再生可能エネルギーの導入を進めることが重要です。

このため、「永続地帯」研究をすすめている千葉大学公共研究センターと協同労働による仕事おこしをすすめている日本労働者協同組合ワーカーズコープ連合会が共催して、下記のように再生可能エネルギー研修会を開催することとしました。一日単位でも、通しでも受講できます。奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

記

タイトル 再生可能エネルギー活用による地域復興セミナー
 -地域主体で自然エネルギーから仕事づくり-

日時 2012年2月20日(月)～24日(金)

場所 日本労働者協同組合連合会東北復興本部(仙台市青葉区一番町4-7-17小田急ビル6階会議室)

主催 千葉大学公共研究センター、日本労働者協同組合ワーカーズコープ連合会

日程 一日4コマ(1時限9:10-10:30、2時限10:40-12:00、3時限13:30-14:50、4時限15:00-16:20)の研修会とする。通しの受講者には修了証を交付する。

受講人数上限 約50名

受講料 通し15,000円(学生・院生:障がい者7,500円)、1日参加3,500円/日(学生・院生:障がい者:2,000円/日)

事前申込先 ワーカーズコープ東北復興本部(担当 佐藤)

TEL: 022-748-6165 FAX: 022-748-6166 メール: thk-fkb@roukyou.gr.jp

(メールにて、お名前、ご所属、参加予定日をお知らせください。万一、参加希望多数の場合にはご希望に添えない可能性があります。)

講師予定(変更される場合があります)

| | 2月20日(月) | 2月21日(火) | 2月22日(水) | 2月23日(木) | 2月24日(金) |
|-------------|--|--------------------------------------|----------------------------------|--|--------------------------------|
| 9:10-10:30 | 開校式 地域主導での再生可能エネルギー導入の意義(倉阪秀史・千葉大学教授) | 再生可能エネルギーの現状(松原弘直・環境エネルギー政策研究所主任研究員) | 木質バイオマス(古川正司・さいかい産業取締役) | 地中熱(笹田政克・地中熱利用促進協会理事長) | ファイナンス(竹ヶ原啓介・日本政策投資銀行環境・CSR部長) |
| 10:40-12:00 | 東北復興と仕事おこし(楠野晋一・協同総合研究所) | 再生可能エネルギーの現状(松原弘直・環境エネルギー政策研究所主任研究員) | 葛巻町事例(日向信二・岩手県葛巻町農林環境エネルギー課主任主事) | 地熱発電・温泉発電(安川香澄・産業技術総合研究所地熱資源研究グループ主任研究員) | 自然エネルギー証書(竹村英明・エナジーグリーン株式会社) |
| 13:30-14:50 | 地球温暖化の現状(明日香壽川・東北大学教授) | 小水力(市川倫也・第一回小水力発電サミット実行委員) | 太陽光(磯野謙・自然電力株式会社代表取締役) | 風力(斎藤哲夫・日本風力発電協会企画室長) | 資金調達(山口勝洋・サステナジー株式会社代表取締役) |
| 15:00-16:20 | 太陽光(南原順・国際航業ホールディングスソーラー事業開発担当) | 小水力(宮崎和也・山梨県小水力発電開発室) | 太陽熱(浅井俊二・ソーラーシステム振興協会顧問) | 風力(中尾徹・日本風力発電協会情報技術局長) | 天栄村事例(小山志津夫・福島県天栄村産業振興課主幹)閉校式 |